

中里小学校 学校だより

# おおくす

令和8年3月23日

第18号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し(共に学び、共に育つ)～

## 大変お世話になりました

校庭の花々が美しさを増し、春の訪れを感じる季節となりました。

いよいよ明日、修了式を迎えます。1年間の学習と生活の締めくくりです。

振り返れば、4月の始業式から今日まで、子供たちは学習に行事に全力で取り組んできました。経験を重ねてきた表情は、1年前よりもずっと頼もしく輝いています。

保護者の皆様には、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

春休み、次なるステップへの準備を整え、4月にまた元気な笑顔で登校してくることを楽しみにしています。

さて、明日、子供たちに通知表『のびる子』を手渡します。そこには、教科の成績だけでなく、一人ひとりが努力した証、心の成長が記されています。

低学年は、自分の力でできることが増えました。中学年は、仲間と協力する喜びを知りました。高学年は、学校のリーダーとして下級生を支える優しさを見せてくれました。ご家庭でも、ぜひこの1年間の頑張りを具体的に褒めてあげてください。その一言が、子供たちの新しい学年への大きな自信となります。

今回の人事異動により3月末日をもって、本校を離れることとなりました。

子どもたちに伝え続けてきた「中里仲良し」という言葉。この言葉の通り、相手を思いやる姿や、下級生に優しく接する姿を校内のあちこちで見ることができるようになりました。

学校だけでなく家庭・地域で、子どもたちを育ててくださった皆様の連携があったからこそ、今の中里小学校があります。この学校の良さ・伝統・誇りが、次の代へと引き継がれていくことを信じています。5年間支えていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

